

今夏の需給見通しと節電のお願いについて

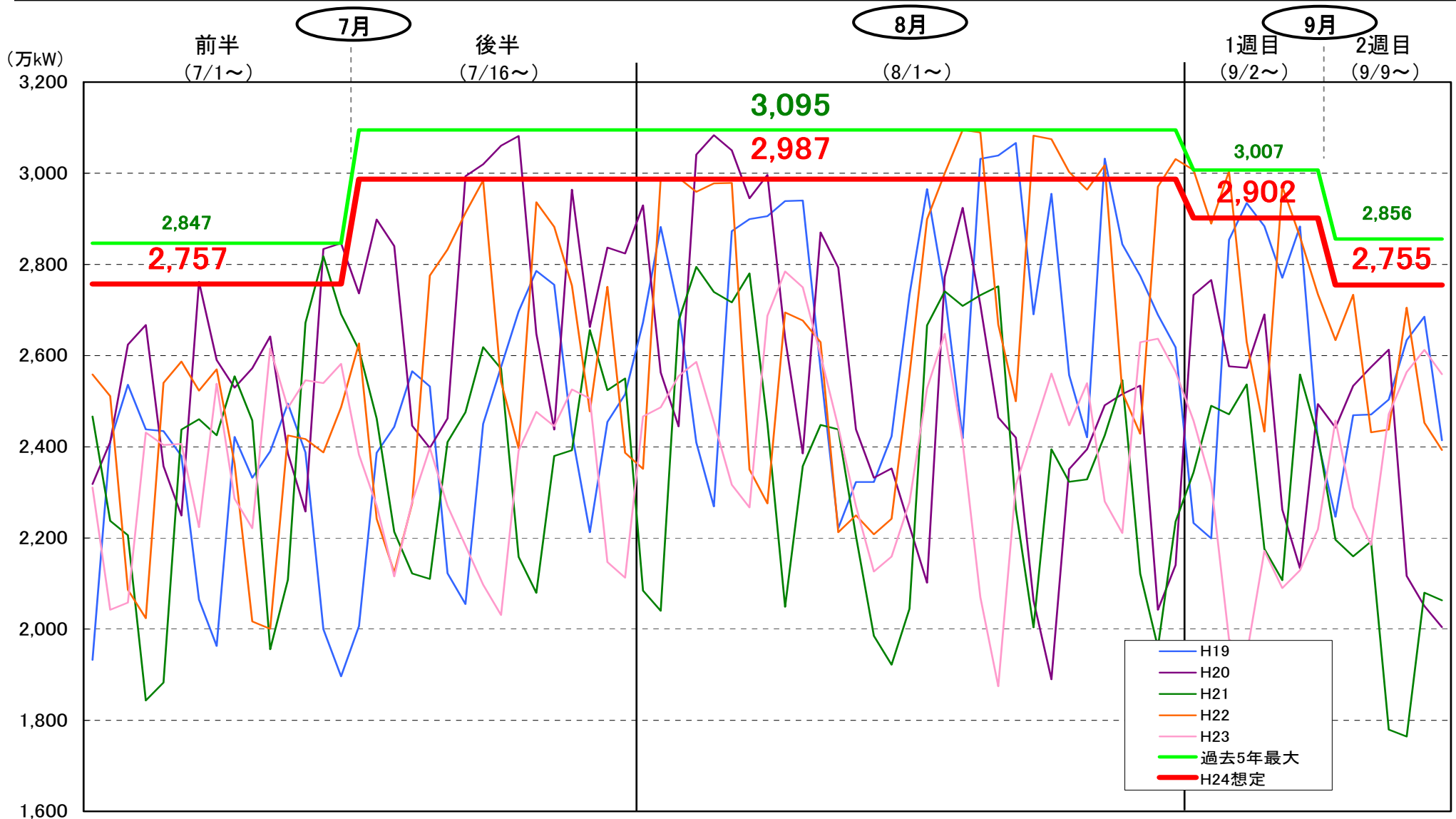
平成24年5月19日
関西電力株式会社

今夏の需給見通し

過去5年の最大電力実績と定着した節電等を織り込んだ想定需要

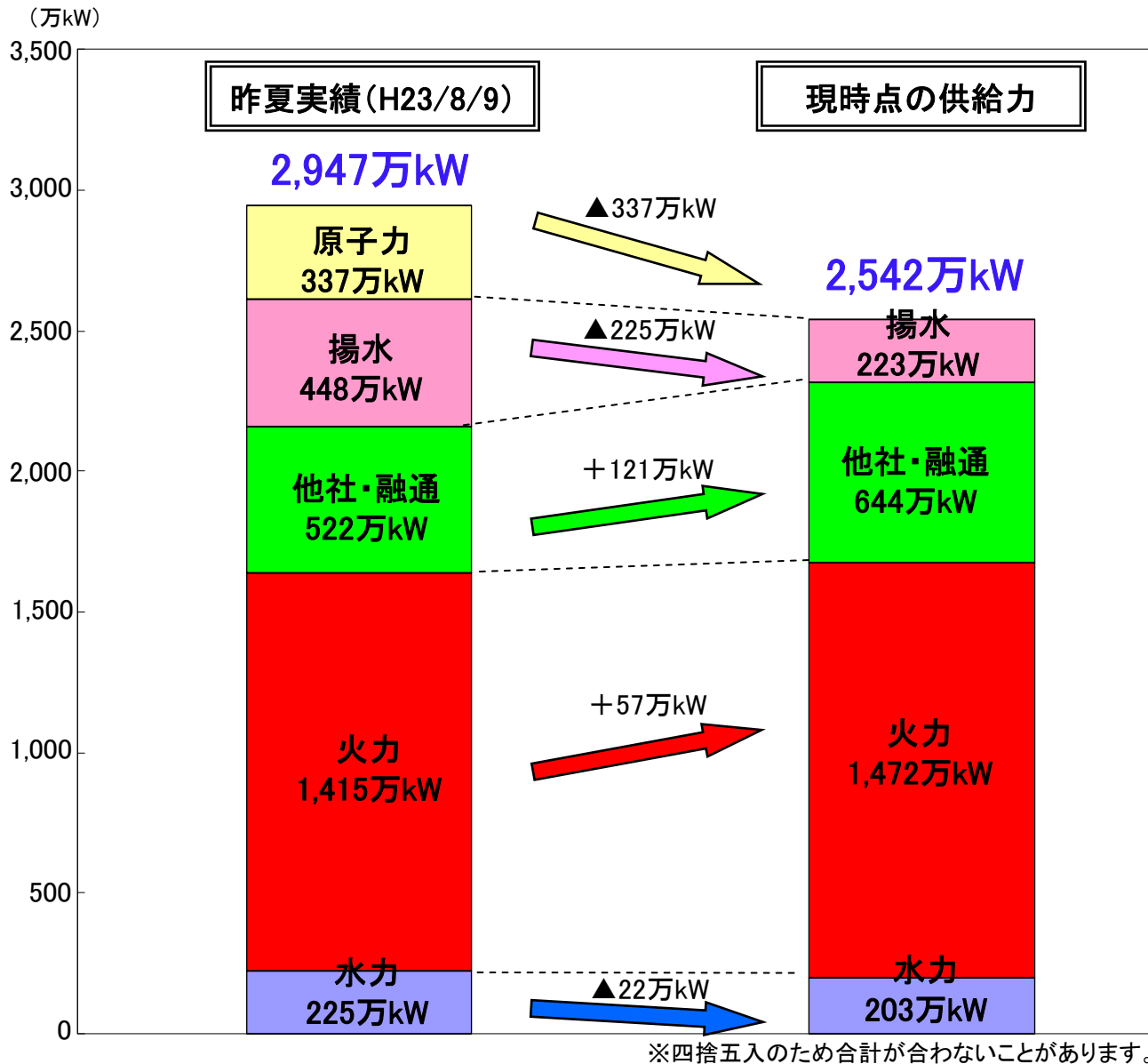
○平成22年度並の猛暑を想定し、定着した節電と随時調整契約を織り込んだ場合、今夏の需要は最大で2,987万kWになると想定しています。

○また、各月や各週の想定は、過去5年の最大電力実績と定着した節電・随時調整契約を織り込んで想定しています。



供給力確保の状況(8月)

○自社設備は全台稼働、他社・融通からの調達も最大限実施しますが、8月の供給力は2,542万kWの見通しです。



供給力確保の取組み

■ 自社設備

- ・自社設備は、火力・揚水・水力とも、定期検査や大規模な補修作業を延期して、全台稼働する計画としております。
- ・法定点検のある火力については、災害規定を活用し、法定期限外まで定期点検を延期します。
- ・また、定期点検時に実施してきた、消耗品などの取替えができないため、巡視や保守を強化するとともに、最低限必要な補修作業は、土日や夜間など、短期間で行います。
- ・火力については、長期計画停止機である海南2号機の再稼働や小型ガスタービンを姫路第一発電所に設置します。
- ・また、コンバインドサイクル機に吸気冷却装置を設けることで、夏場の出力低下の低減を図るとともに、昨夏同様、出力向上運転を行います。

■ 他社・融通

- ・他社からの受電については、自家発電をお持ちのお客さまに可能な限りの増出力をお願いしております。
- ・他電力会社からの融通については、夜間時間帯、他電力管内の自家発電余剰を含めて、現時点で可能な限りの送電をお願いしております。
- ・なお、IPPなどからの受電については、自社設備同様に全台稼働し、可能な限りの発電をお願いしております。

供給力確保の取組み状況(自社火力)

概要		供給力(発電端:万kW)				
		7月 前半	7月 後半	8月	9月 1週目	9月 2週目
昨夏実績(H23/8/9)		1,415				
現状の見込み		1,425	1,470	1,472	1,479	1,479
昨夏からの増減	小計	+10	+55	+57	+64	+64
	定期検査、作業内容の見直し等	+3				
	長期計画停止機(海南2号機)の再稼動	0	+45			
	小型ガスタービンの設置	0		+2	+5	
	大気温上昇による出力低下の見直し等	+6		+7	+10	

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

供給力確保の取組み状況(自社水力)

概要		供給力(発電端:万kW)				
		7月 前半	7月 後半	8月	9月 1週目	9月 2週目
昨夏実績(H23/8/9)		225				
現状の見込み		223	223	203	186	186
昨夏からの増減	小計	▲2	▲2	▲22	▲39	▲39
	想定供給力は、渇水時や晴天でも安定的に供給できるよう、各月の下から5日の平均から算定することによる実績との差	▲1		▲20	▲38	
	台風12号による設備被害影響	▲2		▲2	▲1	

概要		供給力(発電端:万kW)				
		7月 前半	7月 後半	8月	9月 1週目	9月 2週目
昨夏実績(H23/8/9)		448				
現状の見込み		283	221	223	314	432
昨夏からの増減	運転必要時間の増加・くみ上げ量の減少に伴う供給力の減少	▲165	▲227	▲225	▲134	▲15

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

供給力確保の取組み状況(原子力、他社・融通)

概要	供給力(発電端:万kW)				
	7月 前半	7月 後半	8月	9月 1週目	9月 2週目
昨夏実績(H23/8/9)	337				
現状の見込み	0				
昨夏からの増減	▲337				

概要	供給力(発電端:万kW)					
	7月 前半	7月 後半	8月	9月 1週目	9月 2週目	
昨夏実績(H23/8/9)	522					
現状の見込み	601	604	644	773	778	
昨夏からの増減	小計	+79	+82	+121	+251	+256
	他の電力会社の需給状況による融通の中止	▲30				
	他の電力会社からの応援融通の受電	▲12	▲10	+34	+168	+173
	昨夏トラブルにより停止していた電源の復帰	+107				
	その他(卸・IPP・自家発等)からの受電の増減	+15	+15	+11	+6	+6

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

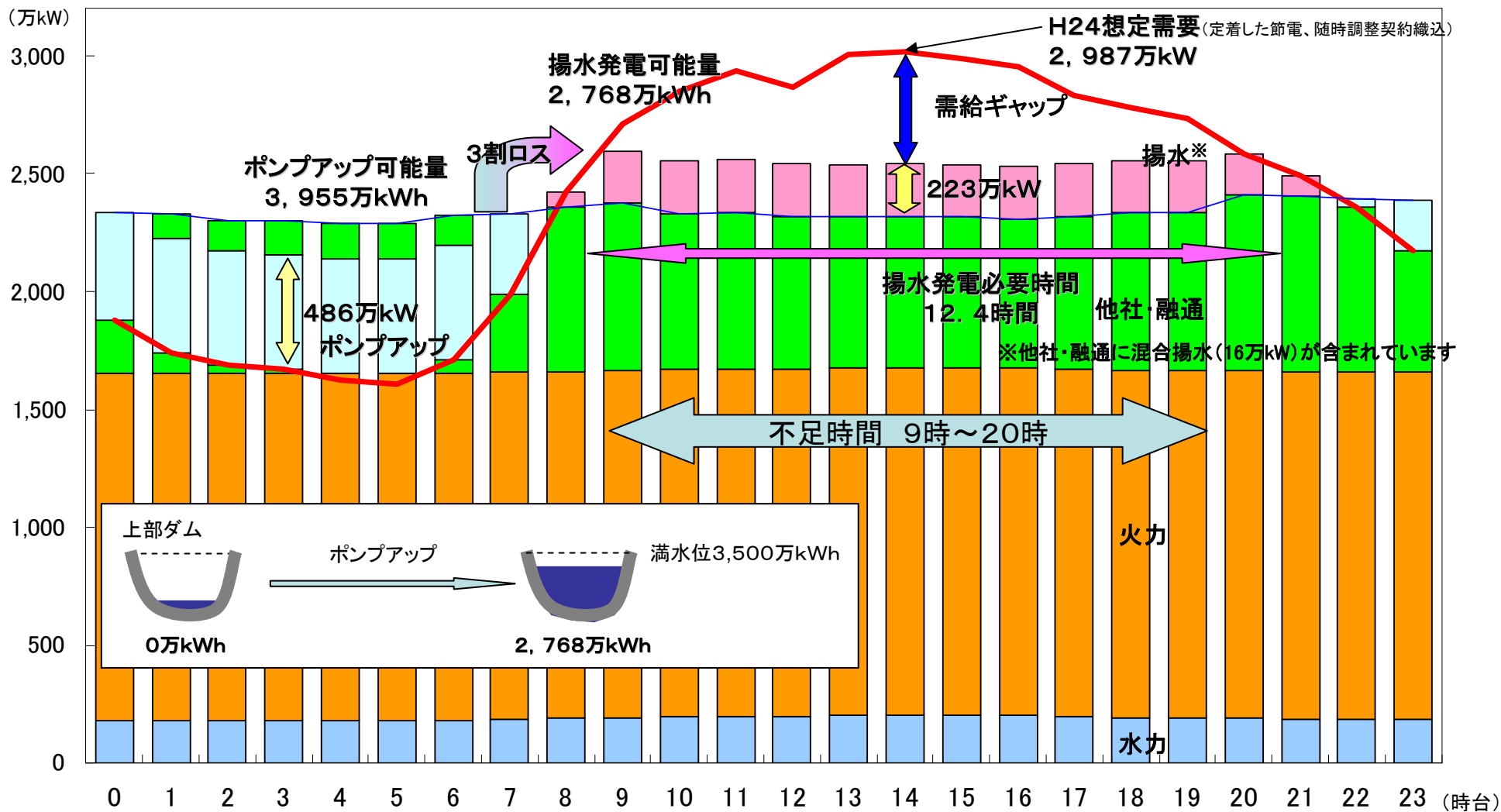
今夏における揚水発電可能量

○深夜時間帯は他社・融通から受電することで、設備の限界までポンプアップを行います。満水位(3,500万kWh)までさらにポンプアップするには、早朝と夜の受電が必要ですが、これ以上の追加受電はできないため、揚水の供給力を増加することはできません。

○揚水の発電可能量は2,768万kWh、発電必要時間12.4時間であることから、揚水発電の供給力は223万kWとなります。

○揚水発電の供給力は、電力需要のロードカーブの形によっても差異が出ます。
(例:夜間の気温上昇により電力需要が増大した場合は、揚水発電の供給力が減少。)

○なお、電源トラブルによりベース供給力が減少すると、揚水発電の供給力は減少します。



供給力確保の今後の取組みとリスク

○今後の取組みと増加の可能性

実施内容	
融通	他電力会社において需給状況に余力が生じれば、追加の受電をお願い (他の供給力不足のある電力への配慮も必要)
	他電力管内での節電のご協力により余力が生じれば、さらなる追加の受電をお願い (他の供給力不足のある電力への配慮も必要)
他社・自家発	新電力への管内節電のご理解と余力供給の要請など、他社・自家発からの追加供給力確保に全力で努力
卸電力取引所	掲示板を活用した全国の取引会員からの供給力募集
	先渡市場を活用した夏季商品(月間・週間)の積極的な調達
	スポット市場を活用した直前までの積極的な調達
	設置検討中の分散型・グリーン売電市場(仮称)を活用した、管外自家発の余力調達
水力	出水状況が良好であれば水力の供給力増加の可能性
新エネルギー	天候が良好であれば太陽光発電の供給力増加の可能性

需要・供給力の方策に伴い需給が改善すれば、揚水の供給力の増加が見込まれる。
(早朝・深夜の一般的節電によっても揚水の供給力の増加が見込まれる。)

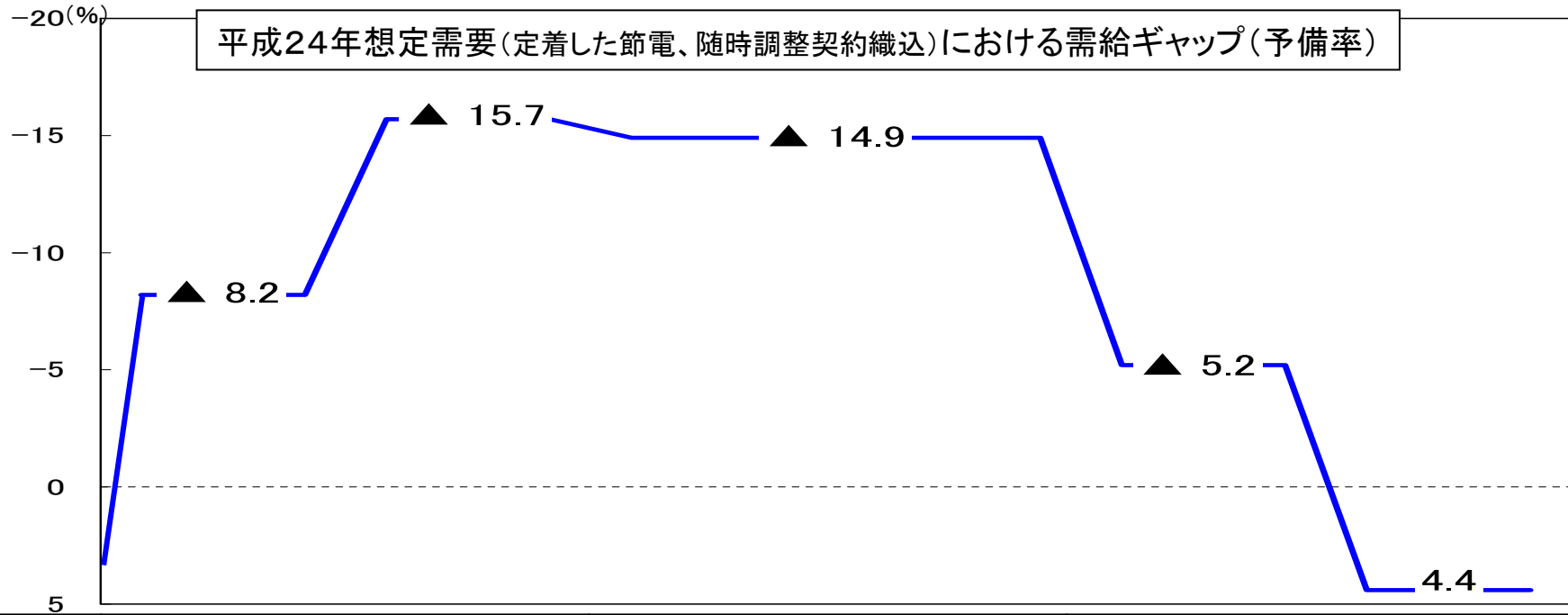
○減少のリスク

内容	
電源トラブル	電源の計画外停止
融通の減少	他社の電源の計画外停止や、気温が想定を上回る事が明らかになった場合は融通が減少する可能性

更なる追加供給力の確保は、大きな期待ができるものではありませんが、引き続き供給力確保に努めてまいります。
なお、一方で、電源トラブル等の減少のリスクもございます。

今夏の需給見通し(1)

○今夏の需給見通しは、定着した節電を織り込んで、7月から9月1週目までマイナスの需給ギャップが発生し、7月後半から8月末までは▲15%程度となる見通しです。



(発電端)	7月		8月	9月	
	前半	後半		1週目	2週目
需要【随時調整契約加味後】(万kW)	2,757	2,987	2,987	2,902	2,755
供給力(万kW)	2,532	2,517	2,542	2,752	2,875
予備力(万kW)	▲225	▲470	▲445	▲150	120
予備率	▲8.2%	▲15.7%	▲14.9%	▲5.2%	4.4%
3%控除予備率	▲11.2%	▲18.7%	▲17.9%	▲8.2%	1.4%

【参考:過去5年最大需要での需給見通し】

需要(万kW)	2,847	3,095	3,095	3,007	2,856
供給力(万kW)	2,513	2,502	2,525	2,714	2,875
予備力(万kW)	▲334	▲593	▲570	▲293	19
予備率	▲11.7%	▲19.2%	▲18.4%	▲9.8%	0.7%
3%控除予備率	▲14.7%	▲22.2%	▲21.4%	▲12.8%	▲2.3%

今夏の需給見通し(2)

(発電端:万kW)

	7月	8月	9月
最大電力需要	2,987	2,987	2,902
供給力	2,517	2,542	2,754
予備力	▲470 ▲15.7%	▲445 ▲14.9%	▲148 ▲5.1%
予備力(必要予備率 3%考慮)	▲560 ▲18.7%	▲535 ▲17.9%	▲235 ▲8.1%

	前半	後半	前後半	1週目	2週目
最大電力需要	2,757	2,987	2,987	2,902	2,755
供給力	2,532	2,517	2,542	2,752	2,875
予備力	▲225 ▲8.2%	▲470 ▲15.7%	▲445 ▲14.9%	▲150 ▲5.2%	120 4.4%
予備力(必要予備率 3%考慮)	▲308 ▲11.2%	▲560 ▲18.7%	▲535 ▲17.9%	▲237 ▲8.2%	37 1.4%

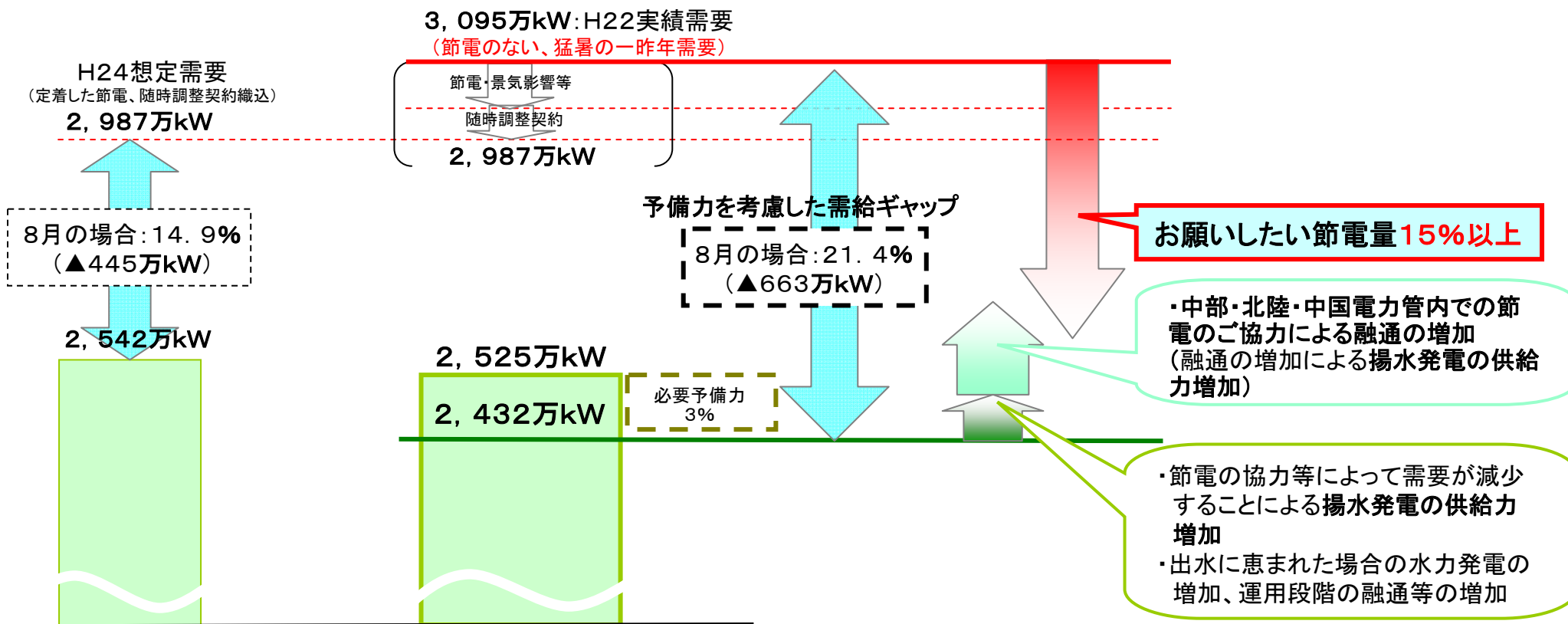
供給力内訳	揚水	283	221	223	314	432
	火力	1,425	1,470	1,472	1,479	1,479
	他社・融通	601	604	644	773	778
	水力	223	223	203	186	186
	原子力	0	0	0	0	0

お客さまへの節電のお願い

節電をお願いする量の考え方

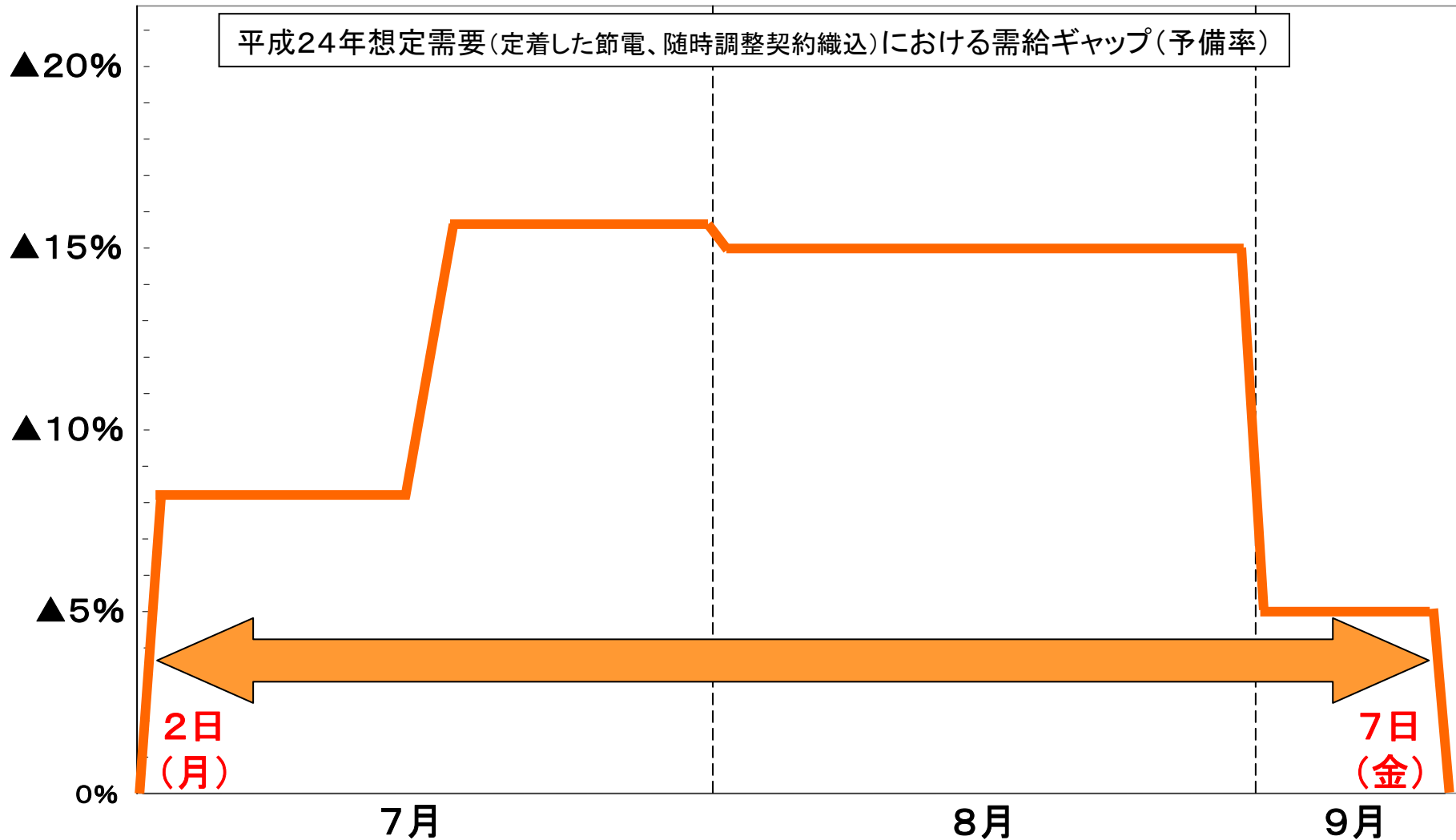
○想定需要は定着した節電等を織り込んでいることから、お客さまの節電前の実績である**平成22年夏季使用最大電力を基準**としております。

○予備力等を考慮した需給ギャップを解消する取組みが必要ですが、節電等により需要が減少した場合の揚水供給力の増加や、運用段階での応援融通などによる供給力確保の効果等を考慮した水準に、国の調整による中部電力・北陸電力ならびに中国電力管内での節電のご協力による融通の増加を見込み、平成22年夏季使用最大電力から**15%以上**の節電をお願いしたいと考えております。



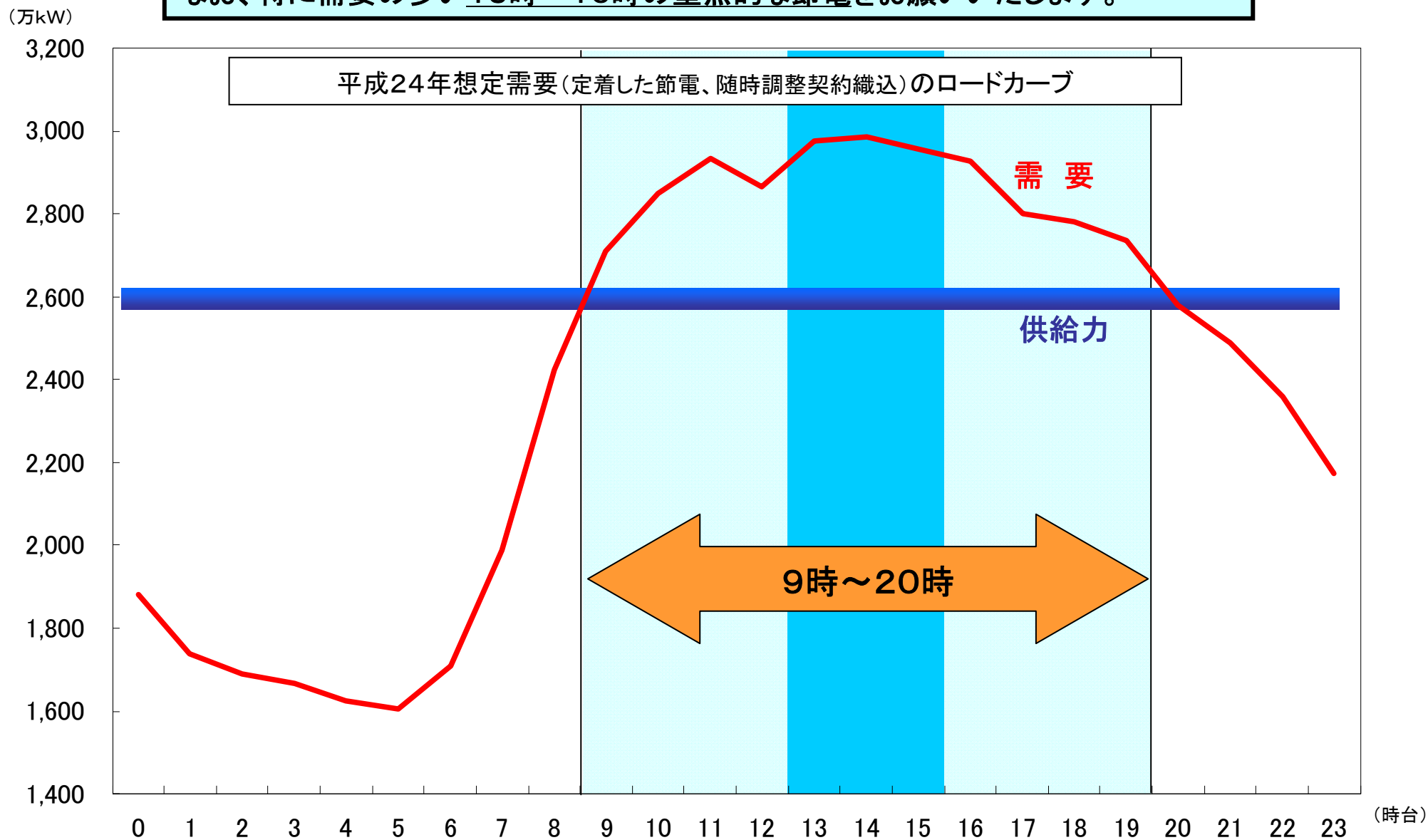
節電をお願いする期間の考え方

平成24年想定需要(定着した節電、随時調整契約織込)において需給ギャップ(予備率)がマイナスとなる7月2日(月)から9月7日(金)までの期間の節電をお願いしたいと考えております。



節電をお願いする時間帯の考え方

9時～20時の時間帯での節電をお願いしたいと考えております。
なお、特に需要の多い**13時～16時**の重点的な節電をお願いいたします。



お客さまへの節電のご協力のお願い

7月2日～9月7日の平日（8月13日～15日を除く）、**9時～20時**の間、**15%以上**（※）の

節電のご協力をお願いいたします。 ※平成22年夏季使用最大電力を基準としております。

すなわち、節電にあたっては、平成22年夏季における使用最大電力の値等を基準とし、この85%を超えない水準を目標としていただくようお願いいたします。

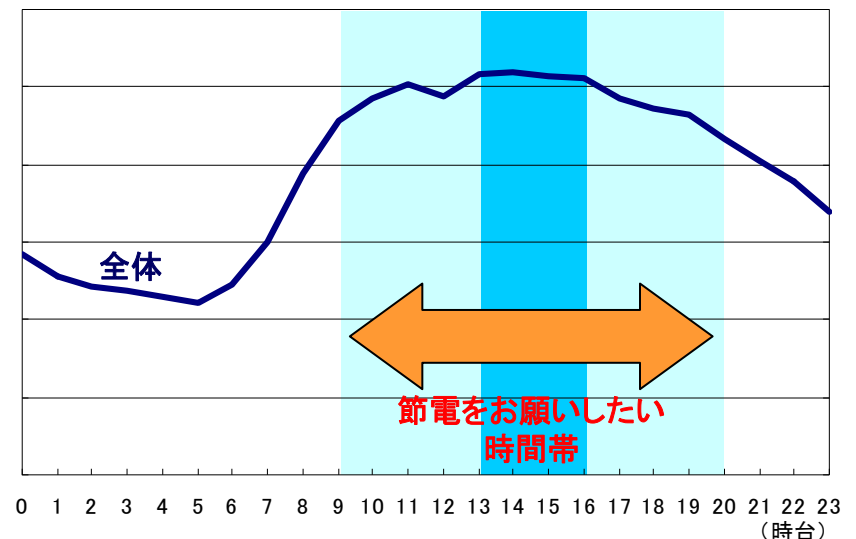
上記節電に支障の生じない範囲で、早朝（7時～9時）や夜（20時～25時）の時間帯においても、揚水発電の供給力を増加させる観点から、日常生活や経済活動に支障を生じない範囲での節電に、ご協力をお願いいたします。

また、ご家庭では健康に影響のない範囲で、病院や鉄道等ではライフライン機能等の維持に支障が生じない範囲で、節電にご協力をお願いいたします。

なお、気温の状況等により、さらに需給が逼迫することも考えられます。その際には、でんき予報や需給逼迫のお知らせメール等を通じて、一層の節電のお願いをさせていただく場合もございます。重ねてご理解・ご協力をお願いいたします。

□夏の平日の電気の使われ方

夏の電力需要は、平日の日中（14時頃）にピークが先鋭化します。
特に気温が高くなる13時～16時に需要が多くなります。



ご家庭のお客さまへのご協力のお願い

ご家庭のお客さまは平成22年夏季使用最大電力(kW)との比較が困難ですので、パンフレット等に掲載している「節電対策チェックシート」等を参考にしていただき、節電にご協力をお願いいたします。節電にあたっては「各種電気料金メニュー」や、「節電トライアル」、「はぴeみる電」(WEBでの「電気ご使用量のお知らせ照会サービス」)などもご活用いただきますようお願いいたします。

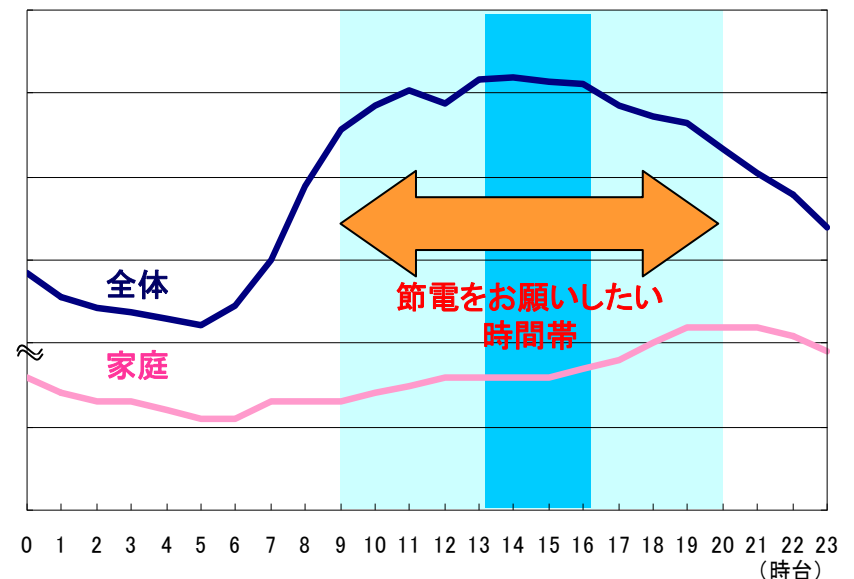
夏の平日の昼間(14時頃)は、ご家庭での消費電力のうちエアコン、冷蔵庫、テレビ、照明で全体の約8割を占めます。エアコンの高めの温度設定(室温28℃を目安)、冷蔵庫の控えめな温度設定(「強」から「中」に変更)など、これらの機器を中心に節電に取り組んでいただくと効果的です。また、他の時間帯へ電化製品のご使用をずらしていただくことも有効な節電対策になります。

なお、エアコンの控え過ぎによる熱中症などには十分にご注意いただき、節電にご協力ください。

▶ 全戸に配布するチラシ、CM、新聞広告などを通じてお願いしてまいります。

□ご家庭での夏の平日の電気の使われ方

ご家庭のお客さまの電力需要は、朝方より気温の上昇に合わせて緩やかに増えはじめ、ご家族が帰宅される夕方以降に最も大きくなります。



法人のお客さまへのご協力をお願い

[オフィスや商店など(業務用)のお客さま]

空調の抑制や不要な照明の消灯などを中心に節電にご協力をお願いいたします。
節電のご協力にあたっては、業種ごとにご用意したパンフレットや、需給調整に係る電気料金メニュー **メ**
ニューなどをご活用いただきますようお願いいたします。

[工場など(産業用)のお客さま]

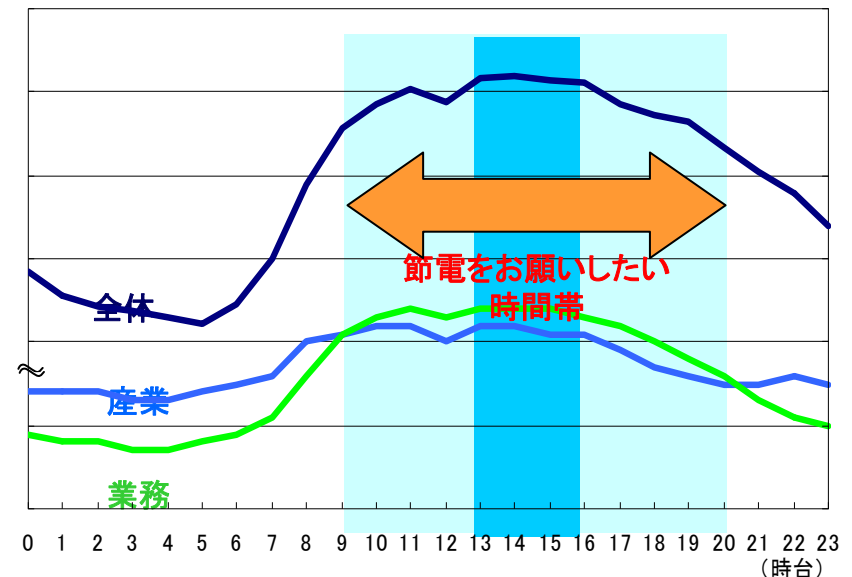
空調の抑制や不要な照明の消灯など一般設備の使用抑制、生産工程の節電対策や自家発電設備の活用、操業シフトなどにより、節電にご協力をお願いいたします。 節電のご協力にあたっては、需給調整に係る電気料金メニューなどをご活用いただきますようお願いいたします。

▶ お客さまへのご訪問やダイレクトメールでのご連絡を通じてお願いしてまいります。

□ 法人のお客さまの夏の平日の電気の使われ方

業務用および産業用のお客さまの電力需要は、事業活動が始まる朝から夕方にかけて、一定の高い水準で推移します。

(産業用のお客さまでは、お昼休みの12時頃には電力需要は一旦下がります。)



お客さまには、再三にわたり、大変なご不便とご迷惑をお掛けすることとなり、誠に申し訳ございません。この夏の節電に何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、中部電力、北陸電力ならびに中国電力管内の皆さまにおかれましては、関西地域の電力需給安定のために、節電にご協力を賜ることとなり、誠に申し訳ございませんが、格別のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

関西電力株式会社

□節電に関するお問い合わせ

【節電お問い合わせ専用ダイヤル】 0120-911-777（通話料無料）

●受付時間 平日(月～金)9:00～20:00 土日祝 9:00～17:30
※耳やことばがご不自由なお客さまにつきましては、FAXによるお問い合わせも承っております。
FAX 0120-911-011 <受付時間 平日(月～金)9:00～17:30>

【関西電力ホームページ】

●パソコンサイト <http://www.kepco.co.jp/>
●携帯サイト <http://kanden.jp>